

<http://www.womensoutdoornews.com/2017/08/vera-koo-compete-regional-state-matches/>

Retro Won: 地域や州のマッチに出場してみましよう。

数年前ビアンキカップから遠ざかってた時に、Kevin Angstadtさんが私に州や地域レベルのマッチに出場すべきだと言ってきました。そうすることにより、ビアンキカップに向けてスキルをブラッシュアップできるからと。

他のトップシューター達がどのように練習しているのか、どのように戦略を練っているのか、私は射撃を始めてからずっと注意深く観察していました。Angstadtさんは上達に上達を重ねていました。秘訣の一つが州や地域レベルのマッチに出場していることだと教えてくれました。

Angstadtさんは私に参加すべきマッチのリストを作ってくれました。ルイジアナ州ベルシティにあるサウスウエストライフル&ピストルクラブで開催される The Crawfish Cupはリストの中で私のお気に入りになり、数年出場しています。



The Crawfish Cup

今年の大会は9名の女性シューターを含み総勢86名のシューターが参加していて、地域のマッチでは私が体験した最大規模でした。The Crawfish Cupの試合運営はとてもスムーズで、他の大会主催者のお手本となる程です。

The Crawfish Cupは丁度いい時期に開催されます。 今年は一アンキカップの一ヶ月程前の4月23日に開催されました。 The Crawfish Cupを終えて一アンキカップに出場するまで、体力的、精神的に回復する時間が十分にあります。 それでいて一アンキカップまで間が開きすぎているわけではないので、トライアル的に撃てるのです。 The Crawfish Cupでは自分のスキルとギアがベストの状態なのかを確認することができます。 もしベストでなければ数週間調整をする期間があるわけです。

毎回The Crawfish Cupでは、プレッシャーのもと自分がどれだけ実力を発揮できるか、一アンキカップで使用するピストルの調子かどうかを確認することが目的です。 また、一アンキカップを乗り切るため体調が万全であるかも確認することができます。



既に高い射撃のスキルを持っているシューターにとって、The Crawfish Cupに参加することはスキルレベルを保つのにいい機会です。 他のスポーツ同様、射撃も練習しないと腕が鈍りがちになります。 トップレベルのシューター達でさえ、スキルが下がらないよう練習を続ける必要があるのです。

The Crawfish Cupのマッチディレクターである George Mowbray氏は「我々のマッチは、メジャーマッチでトップシューターと競うための練習代わりになるような位置付けになっています。 このマッチの後まだ5週間くらい腕を磨いて準備する期間がありますからね。」

近年、The Crawfish Cupで勝利をおさめた選手達は、ビアンキカップでも好成績をおさめています。これは偶然ではないと思います。例えば、2013年のThe Crawfish Cupで優勝したDoug Koenigは翌年のビアンキカップで優勝しましたし、Angstadtはその翌年に両方の大会で優勝しました。この二年はBruce PiattがThe Crawfish Cupで優勝しています。2011年にThe Crawfish Cupは開催時期を4月に変更しました。1990年代からこのクラブは、違う名前でNRAのアクションピストル州・地域大会を主催していました。その後、注目を集めるために、4月から5月にかけて旬のご馳走のように、ケイジャン料理風の名前に変更されました。

シューター達はビアンキカップの一ヶ月前に、似た雰囲気のもと試合で撃ち、ケイジャン文化と美味しい料理を楽しむことができます。」とMowbray氏は語ります。

長いこと参加者は今の半分くらいでしたが、開催時期が4月になったことで参加者は増加しました。



今年、2つ目のムーバーが移動ターゲットイベントに追加されて更に参加者が増えました。一つ目のムーバーはトラック上を移動し、もう一つのムーバーはいつものムーバーと同様にロープに沿って移動します。地域レベルマッチの中で、The Crawfish Cupは2つムーバーを備えている数少ないマッチです。総合的に見てこのマッチのレベルはとても高いです。ビアンキカップに似せた仕様にして、シューター達が疑似体験を

するような感じになっています。このクラブでは、フォーリングプレートや回転するターゲット、ムーバーなどを一年を通して使用しているので、マッチ開催中何か問題が起こってもカバーすることに役立っています。

参加人数も増加しましたが、それに伴いレベルも高くなりました。

KoenigとCarl Bernoskyがこのマッチに参加したのは2013年のことでした。そして彼らが参加したことで人々の関心を引きました。射撃は他のスポーツと同じで、スキルの高い選手と同じ舞台に参加することで、自分のスキルも磨くことが出来るのです。そのため、The Crawfish Cupには全米はもちろん、ニュージーランド、オランダ、オーストラリアからも参加者が集まります。

KoenigとBernoskyが参加した翌年は13名参加選手が増えました。その翌年は更に20名シューターが加わり、今年はまだ11名と増えていきました。Mowbaryは来年には参加するシューターが100名を超えるイベントになることを希望しています。

The Crawfish Cupはミッドサウス・シューターズ・サプライといったスポンサーがつき、ソーシャルメディアやインターネットで情報拡散してくれたお陰で、急成長を遂げました。



スポンサーなら宣伝効果を出したいところで、ミッドサウスは全力を尽くしました。ミッドサウスの社員はレンジに出向いて出場者達と顔を合わせました。スポンサーはカメラマンを手配して、出場選手達の写真を撮り、ソーシャルメディアに投稿しました。ミッドサウスの代表者は表彰式にも出席しました。

トーナメントの賞品が並べられたテーブルは大変充実していて、参加費を上回る賞品を手にして帰ります。The Crawfish Cupには一万ドルを超える賞品が寄贈されています。

もし州や地域レベルのマッチに参加する回数を増やそうと思っているのなら、ベテランのシューターにどのマッチに出た方がいいか相談してみるといいでしょう。The Crawfish Cupをあなたのマッチリストに是非加えてくださいね。来年マッチで会いましょう。